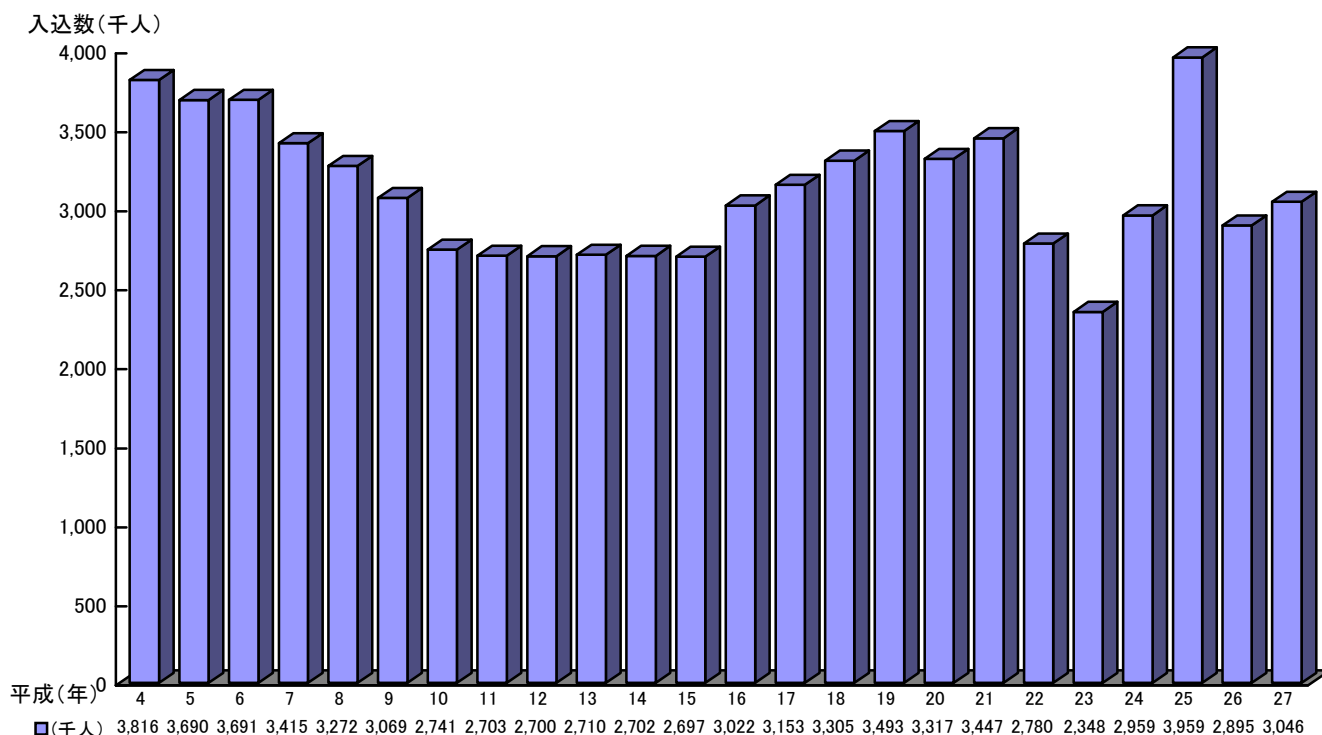


## 平成 27 年会津若松市観光客入込みの概況について



平成27年に会津若松市を訪れた観光客の総数は3,046千人と、前年よりも151千人の増加(対前年比105.2%)となりました。

主な増加要因としては、鶴ヶ城天守閣再建50周年を記念した天守閣展示リニューアルをはじめ関係団体の様々な記念事業の実施が挙げられます。また、4月から開催された「ふくしまDESTINATIONキャンペーン(以下DC)」並びに、「鶴ヶ城さくらまつり」、鶴ヶ城本丸で実施された「会津十楽」、「御三階特別公開」などDC特別事業、さらに県の宿泊助成の旅行券などの効果と認識しております。

様々な事業を通して、本市の観光素材の掘起しや多様な魅力を発信する取組、関係団体が協力して実施された様々なイベント、更に市民総ガイド運動をはじめとした観光客へのおもてなしなどの受入態勢の充実が図られたことが挙げられます。

一方で、宿泊者数と主要観光施設の入込数は微増であり、東日本大震災前の水準まで回復しておらず、引き続き厳しい状況にあるものと認識しております。

平成28年度は4月からふくしまDCアフターキャンペーンが開催されますので、県や全会津の広域観光推進団体「極上の会津プロジェクト協議会」の取組と連携を深め誘客強化の推進に努めてまいります。また、ホームページやSNSなど各種媒体での会津の安全性や多様な魅力の情報発信。教育旅行、外国人観光客の受入態勢の充実や誘客強化などの取り組みを引き続き行ってまいります。